



年 組 名前

道新ワークシート

段ボールベッド 組み立てに挑戦

長万部で防災訓練

【長万部】安全で快適な避難所づくりを目指す防災訓練が「長万部町防災の日」の12日、町ファミリースポーツセンター（町長万部）で行われた。

訓練には町内会役員ら47人が参加した。木幡正志町長は「近年は大規模自然災害が続発している。安全で快適な避難所を設営する訓練を実施します」とあいさつ。参加者は6班に分かれ組み立てに挑戦

した。

ベッドは縦190センチ、横73センチ、高さ41センチ。高さ145センチの間仕切りを設け、1人当たり4平方メートルの広さを確保する。参加者は約15分で完成させた。曙町内会のAさん(67)は「ベッドは早くできたが間仕切りを組み立てるのが手間取った。町内会でも研修した方が効果的ですね」と汗を拭っていた。

町は1993年の北海道南西沖地震での被災を機に、7月12日を「町防災の日」に制定している。(滑川剛通信員)

2021年7月14日（水）朝刊 地方版 函館・渡島・檜山 18P（記事は一部再編集しています）

①防災訓練の実施が大切だと考えられる理由を記事から読み取り、要約しよう。

②町が実施する防災訓練（公助）の他、自分の身を自分で守る（自助）ためにできること、同じ地域に暮らす人々で助け合えること（共助）にはどのようなことが考えられるか、書きなさい。

自助：

共助：